



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔米国会計基準〕(連結)

平成22年7月30日  
上場取引所 東大

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス  
コード番号 3591 URL <http://www.wacoalholdings.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 能交  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 大谷 郁夫  
四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 075(682)1028

(百万円未満四捨五入)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	40,989	8.6	2,501	145.2	1,894	553.1	1,064	100.8
22年3月期第1四半期	37,741	△ 10.1	1,020	△ 57.4	290	△ 84.4	530	△ 58.6

	1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	7.54	7.53
22年3月期第1四半期	3.77	3.77

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	219,025	170,876	168,958	77.1	1,196.63
22年3月期	223,387	173,553	171,630	76.8	1,215.52

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	20.00	20.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当社株主に 帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	87,000	6.7	3,800	0.3	3,800	27.5	2,100	1.5	14.87	
通 期	172,000	5.3	5,000	31.2	5,100	63.3	3,200	26.8	22.66	

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 一社（社名 ）除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年3月期1Q	143,378,085 株	22年3月期	143,378,085 株
② 期末自己株式数	2,182,836 株	22年3月期	2,179,739 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	141,196,784 株	22年3月期1Q	140,450,497 株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後実際の業績は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、当社の実際の業績と大きく異なる結果となる可能性があります。これらのリスクや不確実性、その他の要因には以下のものが含まれます。

- ・経済環境の悪化により国内市場及び海外市場の景気が低迷し当社の業績が悪化するリスク
- ・国内の百貨店、量販店及びその他一般小売店の業績不振や営業政策の変更によって当社が影響を受けるリスク
- ・消費者の嗜好を的確に予測しそれに応える能力及び高品質な商品を提供する能力が期待される成果を生み出さないリスク
- ・激しい市場競争により当社の販売シェアや利益率が低下するリスク
- ・SPA(製造小売)事業ネットワークの拡大が売上や利益の拡大につながらないリスク
- ・カタログ及びインターネット販売の強化による売上増加が達成できないリスク
- ・販売不振による在庫の増加が業績を悪化させるリスク
- ・コスト削減が成功せず利益が減少するリスク
- ・有能な人材確保ができず人材が不足するリスク
- ・季節の天候不順の影響により業績が悪化するリスク
- ・海外事業に関連して増加するリスク
- ・買収及びその他第三者との戦略的提携等の成否に関するリスク
- ・知的財産権に関連するリスク
- ・個人情報保護や当社の機密保持に関するリスク
- ・内部統制に関連するリスク
- ・有価証券に関連するリスク
- ・自然災害、疫病の発生等に関するリスク
- ・新市場の開拓における投資の回収に関するリスク

これらの詳細については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 5
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11
(7) 販売の状況	P. 12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### ①当第 1 四半期の業績概況

当第 1 四半期におけるわが国経済は、一部の企業収益に回復基調が見られるものの、依然として厳しい雇用情勢や所得環境が続き、個人消費は引き続き低調に推移しました。なかでも女性ファッション衣料品業界は、消費者の低価格志向や消費に対する慎重な姿勢が根強く、加えて春先の天候不順などの影響もあり、厳しい状況で推移しました。

このような経営環境のなか、当社グループは主力事業会社である株式会社ワコールを中心に、商品力の向上と消費者ニーズを的確にとらえた商品開発に注力するとともに、本年 4 月より新たに策定した中期経営計画の目標達成を目指し、安定的な収益基盤の構築に向けたインナーウェア卸事業の構造改革やグループ各社の収益性回復への取り組みを開始しました。

その結果、当社グループの当第 1 四半期の連結業績は、株式会社ワコールの売上は前年同期を下回りましたが、米国や中国事業において売上が前年同期を上回ったことや、昨年 8 月 17 日付で株式交換により完全子会社となった株式会社ルシアンとの業績が連結されたことなどにより、売上高は 409 億 89 百万円（前年同期比 8.6%増）となりました。利益面では、ワコールにおいてコスト削減や経費の圧縮に努めたことや、海外事業の収益が改善したことなどにより、営業利益は 25 億 1 百万円（前年同期比 145.2%増）となりました。また、税引前四半期純利益は 18 億 94 百万円（前年同期比 553.1%増）となり、当社株主に帰属する四半期純利益は 10 億 64 百万円（前年同期比 100.8%増）となりました。

#### ②オペレーティング・セグメントの営業概況

##### a. ワコール事業（国内）

株式会社ワコールのワコールブランド事業本部におきましては、キャンペーンブラジャー「LALAN（ララン）」の新商品「リボンブラ」や夏用のブラジャー「スースーブラ」は、機能やデザインが消費者の支持を集め好調に推移し、基幹商品のブラジャー全体では前年を上回りました。新機能ボトムスタイルサイエンス商品群は「クロスウォーカーシャキッと」のメッシュタイプが好調に推移しましたが、その他商品が苦戦したこともあり、ガードル・パンツ全体では前年を下回りました。季節性の高い夏用肌着の新商品「スゴ衣（すごい）」は、「薄い・軽い・爽やか」という商品特性を訴求しましたが、他社商品との競合激化などの影響を受け、低調に推移しました。また高付加価値ブランドでは、販売チャネル別ブランドの「パルファージュ」や「サルート」は前年を下回りましたが、シニア世代を対象にしたブランド「グラッピー」は引き続き好調に推移し、前年を大きく上回りました。これらの結果、主力のワコールブランド事業本部全体の売上は前年同期並みとなりました。

ウイングブランド事業本部におきましては、キャンペーンブラジャー「S-スタイルブラ」をはじめ、スタイルサイエンス商品群が堅調に推移しましたが、夏用肌着はワコールブランド同様、大手量販店、衣料品専門店のプライベートブランド商品や他社商品の影響を大きく受け、前年を下回りました。メンズインナーは、これまで売上を牽引してきた「クロスウォーカー」において新規顧客の獲得が進まなかったことや、シーズン商品の返品が増加したことなどにより、前年を大きく下回りました。また、得意先の在庫調整に伴い納品が進まないことや、バーゲン時期が当初計画よりも後ろ倒しになった影響もあり、ウイングブランド事業本部全体の売上は前年同期を下回りました。

SPA（製造小売）事業部につきましては、直営店「AMPHI（アンフィ）」を中心に展開し、購買客数と購入商品点数の増加により売上を伸ばしました。また、アウトレットモールで展開する「ワコールファクトリーストア」も既存店が堅調に推移し、これらの結果、SPA事業部全体の売上は前年同期を上回りました。

株式会社ワコールの子会社でSPA事業を行う株式会社ウナナクールでは、一部のブラジャーを除いた商品が苦戦し既存店の売上は前年を下回りましたが、新規出店の効果もあり、全体の売上は前年同期を上回りました。なお、アウトレットの新業態として、SPA事業部の商品の他にウナナクールとピーチ・ジョンを品揃えする「ワコール・ラヴァーズ・マーケット」を、7月に三井アウトレットパーク滋賀竜王にオープンしました。

ウエルネス事業部につきましては、消費者の健康志向の高まりも追い風となり、スポーツコンディショニングウェア「CW-X（シーダブリューエックス）」ブランドから発売したスポーツ用タイツや、プロゴルファーの石川遼選手をモデルに広告展開しているゴルフやランニング用の高機能ウェア「柔流（じゅうりゅう）」を中心に、大きく売上を伸ばしました。レッグ・フット商材では、ボディスタイリングウェア「スタイルカバー」やファッション性と機能性を重視したビジネスパンプス「サクセスウォーク」が好調に推移しました。これらの結果、ウエルネス事業部全体の売上は前年同期を大きく上回りました。

通信販売事業部につきましては、カタログ販売はアウターウェアを中心に受注が低迷したこともあり、売上は前年を下回りました。一方、「ワコールウェブストア」として展開するインターネット販売は好調に推移し、インターネット限定商品の「小さく見せるブラ」が話題となりました。しかしながら、主力のカタログ販売の落ち込みが影響し、通信販売事業部全体の売上は前年同期を下回りました。

このようにスポーツ関連商品などは好調に推移したものの、主力のウイングブランドが前年同期を下回ったことなどにより、株式会社ワコール全体の売上は前年同期を下回る結果となりました。一方、利益面におきましては、売上利益率の改善や経費削減が奏功し、営業利益は前年同期を大きく上回りました。

これらの結果、ワコール事業（国内）における売上高は275億28百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は20億円（前年同期比109.9%増）となりました。

#### b. ピーチ・ジョン事業

株式会社ピーチ・ジョン（2010年3～5月）につきましては、通信販売の売上は春号カタログ商品の入荷遅延や夏号カタログの受注低迷などにより前年同期を下回りました。また、国内直営店の売上は、前年同期に比べて店舗数が減少したことや既存店舗が低調に推移したこともあり前年同期を下回りましたが、香港に2店舗出店している海外直営店は堅調に推移しました。利益面ではカタログ発行部数の削減などの効率化に取り組みましたが、売上の減少に伴い営業損失が生じました。

これらの結果、ピーチ・ジョン事業における売上高は30億23百万円（前年同期比4.5%減）、営業損失は1億98百万円（前年同期は営業損失54百万円）となりました。

#### c. ワコール事業（海外）

海外事業（2010年1～3月）に関しましては、米国事業は金融危機の影響で低迷していた取引先百貨店の売上が回復基調となるなか、昨年度から展開している値頃感のあるブラジャーや、補整機能のあるボトム商品が引き続き好調に推移しました。また、セクシーでファッションブルなブランドの「b. tempt'd by Wacoal（ビーテンプティッドバイワコール）」も堅調に推移し、売上は前年同期を上回りました。利益面では売上の増加に加え、製造コスト削減による売上利益率の改善に伴い、営業利益は前年同期を上回りました。なお、当第1四半期における米ドルの為替レートは90円（前第1四半期93円）となり、連結決算ベースでは円高による為替の影響を受ける結果となりました。

中国事業につきましては、主力のワコールブランドに加え、若年層向けブランド「アンフィ」と高付加価値ブランド「サルート」による3ブランド体制で展開しており、百貨店チャネルを中心とした既存店舗でのシェアが徐々に拡大しています。沿海部に加えて内陸部への積極的な出店を開始し、ワコールブランドの認知度向上や売上拡大を目的に、昨年から引き続き中国の有名女優、李小冉（リ・シャオラン）さんを起用したプロモーション活動を実施しました。これらの結果、中国事業全体では売上、利益ともに前年同期を上回りました。

これらの結果、ワコール事業（海外）における売上高は52億53百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益は6億43百万円（前年同期比63.2%増）となりました。

d. その他

株式会社ルシアンにつきましては、主力のインナーウェアやアウターウェアを展開する製品事業部は、主要販売チャネルの量販店市場で苦戦しましたが、刺繍糸やパッチワーク用生地を扱うアートホビー事業部やレース素材を扱うマテリアル事業部は、主力商材が堅調に推移しました。なお、当期は前期に整理した不採算事業の売上がなくなったため、ルシアン全体の売上は前年同期を下回りましたが、当初計画通りの進捗となりました。また利益面については、不採算事業の整理や経費削減が奏功し、営業利益は前年同期から改善しました。

マネキンの製造販売やレンタル、商業施設の設計や施工を行う株式会社七彩におきましては、主要得意先である百貨店の売場改装工事もあり、売上は前年同期を上回りました。また利益面では営業損失が生じましたが、経費の見直しを徹底したことで営業損失額は前年同期より縮小しました。

これらの結果、その他における売上高は5億85百万円（前年同期比195.9%増）、営業利益は560百万円（前年同期は営業損失2億73百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、株主資本等の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、株価の変動による投資の減少やたな卸資産の減少などにより、前連結会計年度末に比して43億62百万円減少し、2,190億25百万円となりました。

負債の部は、流動負債では買掛金、未払金の減少、固定負債では繰延税金負債の減少などにより、前連結会計年度末に比して16億85百万円減少し、481億49百万円となりました。

株主資本は、配当金の支払による利益剰余金の減少や未実現有価証券評価益の変動などにより、前連結会計年度末に比して26億72百万円減少し、1,689億58百万円となりました。

以上の結果により、当第1四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して0.3%増加し、77.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して22億91百万円減少し、220億26百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費やたな卸資産の減少などにより、21百万円の収入（前年同期に比し4億87百万円の収入減）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の増加や有形固定資産の取得などにより、18億82百万円の支出（前年同期に比し29億57百万円の支出増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加があったものの、配当金の支払などにより、3億800百万円の支出（前年同期に比し34億91百万円の支出減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想数値につきましては、2010年5月11日発表時の業績予想からの変更はありません。

価格と品質のバランスを意識した消費者の購買行動の変化や企業間の価格競争の激化など、国内の経営環境は今後も厳しい状況が続くものと予想されますが、当社グループでは魅力ある商品を継続的に展開していくことで売上規模を拡大していく考えです。

株式会社ワコールにおきましては、主力のワコールブランドではキャンペーンブラジャー「LALAN」と新機能ボトムスタイルサイエンスの新商品を発売し、一層の売上拡大に努めていきます。また、ワコール人間科学研究所の研究成果を基にした「からだのエイジング(加齢による体型変化)」をキーワードに、新たにプロモーション活動や商品展開を開始します。さらに、今後も成長が期待できるSPA事業やウエルネス事業などに必要な投資を行い、積極的な拡大を図っていきます。

海外事業に関しては、米国事業が引き続き回復基調で推移しています。商品展開をさらに強化し売上拡大を図っていくとともに、周辺国への進出や販売チャネルの拡張にも取り組んでいく計画です。中国事業は内陸部への出店を推進し、商品面では消費者ニーズに対応したブラジャーや肌着の広告宣伝活動を積極的に展開します。またピーチ・ジョンの中国本土初の直営店を出店し、ワコールグループとして、中国市場でのさらなるシェア拡大を狙います。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

科 目	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度の 連結貸借対照表 (平成22年3月31日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	22,026	24,317	△ 2,291
定期預金	920	—	920
有価証券	6,474	6,529	△ 55
売掛債権			
受取手形	718	469	249
売掛金	21,497	21,116	381
	22,215	21,585	630
返品調整引当金及び貸倒引当金	△ 2,528	△ 1,972	△ 556
	19,687	19,613	74
たな卸資産	31,614	32,103	△ 489
繰延税金資産	4,146	4,595	△ 449
その他の流動資産	3,242	2,776	466
流動資産計	88,109	89,933	△ 1,824
II. 有形固定資産			
土地	21,966	22,012	△ 46
建物及び構築物	61,683	61,585	98
機械装置及び工具器具備品等	14,830	14,773	57
建設仮勘定	273	103	170
	98,752	98,473	279
減価償却累計額	△ 47,070	△ 46,653	△ 417
有形固定資産計	51,682	51,820	△ 138
III. その他の資産			
関連会社投資	15,374	14,769	605
投資	32,648	35,828	△ 3,180
のれん	11,203	11,203	—
その他の無形固定資産	12,177	12,351	△ 174
前払年金費用	571	263	308
繰延税金資産	1,042	935	107
その他	6,219	6,285	△ 66
その他の資産計	79,234	81,634	△ 2,400
資産合計	219,025	223,387	△ 4,362



科 目	当第1四半期連結会計期間末	前連結会計年度の	増減金額
	(平成22年6月30日)	連結貸借対照表 (平成22年3月31日)	
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	10,490	7,941	2,549
買掛債務			
支払手形	1,690	2,174	△ 484
買掛金	8,893	9,161	△ 268
未払金	4,486	5,975	△ 1,489
	15,069	17,310	△ 2,241
未払給料及び賞与	4,825	5,927	△ 1,102
未払税金	728	2,105	△ 1,377
その他の流動負債	4,203	2,400	1,803
流動負債計	35,315	35,683	△ 368
II. 固定負債			
退職給付引当金	2,217	2,269	△ 52
繰延税金負債	8,058	9,380	△ 1,322
その他の固定負債	2,559	2,502	57
固定負債計	12,834	14,151	△ 1,317
負債計	48,149	49,834	△ 1,685
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,365	29,366	△ 1
III. 利益剰余金	135,395	137,155	△ 1,760
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整額	△ 7,040	△ 7,505	465
未実現有価証券評価益	2,203	3,669	△ 1,466
年金債務調整勘定	△ 1,699	△ 1,783	84
V. 自己株式	△ 2,526	△ 2,532	6
株主資本計	168,958	171,630	△ 2,672
VI. 非支配持分	1,918	1,923	△ 5
資本計	170,876	173,553	△ 2,677
負債及び資本合計	219,025	223,387	△ 4,362

## (2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		増減金額 百万円
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	37,741	100.0	40,989	100.0	3,248
II. 営業費用					
売上原価	17,625	46.7	19,519	47.6	1,894
販売費及び一般管理費	19,096	50.6	18,969	46.3	△ 127
営業費用計	36,721	97.3	38,488	93.9	1,767
営業利益	1,020	2.7	2,501	6.1	1,481
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	42	0.1	23	0.1	△ 19
支払利息	△ 26	△ 0.1	△ 29	△ 0.1	△ 3
受取配当金	361	1.0	351	0.9	△ 10
有価証券・投資有価証券売却益 及び交換益	2	0.0	—	—	△ 2
有価証券・投資有価証券評価損	△ 1,135	△ 3.0	△ 960	△ 2.4	175
その他の損益(純額)	26	0.1	8	0.0	△ 18
その他の収益・費用計	△ 730	△ 1.9	△ 607	△ 1.5	123
税引前四半期純利益	290	0.8	1,894	4.6	1,604
法人税等	28	0.1	1,032	2.5	1,004
持分法による投資損益及び非支配 持分帰属損益調整前四半期純利益	262	0.7	862	2.1	600
持分法による投資損益	283	0.7	262	0.6	△ 21
四半期純利益	545	1.4	1,124	2.7	579
非支配持分帰属損益	△ 15	△ 0.0	△ 60	△ 0.1	△ 45
当社株主に帰属する四半期純利益	530	1.4	1,064	2.6	534

(注) 米国財務会計基準審議会会計基準書220「包括利益」を適用しており、同会計基準書に基づく前第1四半期、当第1四半期の当社株主に帰属する四半期包括損益はそれぞれ6,470百万円、147百万円であります。

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	545	1,124
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	1,103	1,122
(2)返品調整引当金及び貸倒引当金	577	552
(3)繰延税金	△ 637	△ 49
(4)固定資産除売却損益	13	△ 127
(5)有価証券・投資有価証券評価損	1,135	960
(6)有価証券・投資有価証券売却益及び交換益	△ 2	—
(7)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	△ 91	△ 57
(8)資産及び負債の増減		
売掛債権の減少(△増加)	1,293	△ 596
たな卸資産の減少(△増加)	△ 997	537
その他の流動資産等の増加	△ 538	△ 462
買掛債務の減少	△ 2,070	△ 2,035
退職給付引当金の増加(△減少)	86	△ 215
その他の負債等の増加(△減少)	213	△ 793
(9)その他	△ 122	60
営業活動によるキャッシュ・フロー	508	21
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加	—	△ 897
2. 有価証券の売却及び償還収入	4,383	—
3. 有価証券の取得	△ 1,500	—
4. 有形固定資産の売却収入	49	205
5. 有形固定資産の取得	△ 1,049	△ 703
6. 無形固定資産の取得	△ 703	△ 228
7. 投資の取得	△ 40	△ 270
8. その他	△ 65	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,075	△ 1,882
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	△ 288	2,537
2. 長期債務の返済	—	△ 17
3. 自己株式の取得	0	△ 4
4. 配当金の支払	△ 3,511	△ 2,824
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,799	△ 308
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	472	△ 122
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 1,744	△ 2,291
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	22,939	24,317
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	21,195	22,026

## 補足情報

現金支払額		
利息	25	29
法人税等	692	2,104

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## ① オペレーティング・セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年6月30日）

（単位：百万円）

	ワコール事業 (国内)	ピーチ・ジョン 事業	ワコール事業 (海外)	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	28,233	3,166	4,590	1,752	37,741	—	37,741
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	495	4	1,580	627	2,706	△ 2,706	—
計	28,728	3,170	6,170	2,379	40,447	△ 2,706	37,741
営業利益（△損失）	953	△ 54	394	△ 273	1,020	—	1,020

当第1四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	ワコール事業 (国内)	ピーチ・ジョン 事業	ワコール事業 (海外)	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	27,528	3,023	5,253	5,185	40,989	—	40,989
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	685	10	1,493	1,063	3,251	△ 3,251	—
計	28,213	3,033	6,746	6,248	44,240	△ 3,251	40,989
営業利益（△損失）	2,000	△ 198	643	56	2,501	—	2,501

(注) 1. 前連結会計年度末より米国財務会計基準審議会会計基準書280「セグメント報告」を適用しております。

これにより、前第1四半期連結累計期間に係るセグメント情報の数値を組替再表示しております。

## 2. 各事業の主な製品

- ワコール事業（国内） …… インナーウェア（ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー）、アウターウェア、スポーツウェア、レックニット他
- ピーチ・ジョン事業 …… インナーウェア（ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー）、アウターウェア、その他繊維関連商品他
- ワコール事業（海外） …… インナーウェア（ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー）、アウターウェア、スポーツウェア、レックニット他
- その他 …… インナーウェア（ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー）、アウターウェア、その他繊維関連商品、マキソ人形、店舗設計・施工他

## ② 地域別情報

前第1四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	33,102	2,044	2,595	37,741
構成比	87.7%	5.4%	6.9%	100.0%
営業利益	461	443	116	1,020

当第1四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	35,600	2,437	2,952	40,989
構成比	86.9%	5.9%	7.2%	100.0%
営業利益	1,632	491	378	2,501

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア: 東アジア及び東南アジア諸国

欧米: 北米及びヨーロッパ諸国

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 販売の状況

製品の種類		前第1四半期 自平成21年4月1日 至平成21年6月30日		当第1四半期 自平成22年4月1日 至平成22年6月30日		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
インナーウェア	ファンデーション ・ランジェリー	百万円 26,376	% 69.9	百万円 28,587	% 69.8	百万円 2,211	% 8.4
	ナイトウェア	2,637	7.0	2,416	5.9	△ 221	△ 8.4
	リトルインナー	460	1.2	455	1.1	△ 5	△ 1.1
	計	29,473	78.1	31,458	76.8	1,985	6.7
アウターウェア ・スポーツウェア等		4,077	10.8	4,196	10.2	119	2.9
レッグニット		465	1.2	512	1.2	47	10.1
その他繊維製品 及び関連製品		1,663	4.4	2,284	5.6	621	37.3
その他		2,063	5.5	2,539	6.2	476	23.1
合計		37,741	100.0	40,989	100.0	3,248	8.6